

お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、患者さんのカルテの記録や通常の診療で行った検査の後に保管されている残った試料（手術検体）を使用します。

この研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテや保管されている手術検体を利用することをご了解いただけない方は、下記【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

【研究課題名】

多機関共同研究による泌尿器癌進展の分子遺伝学的メカニズム解明

【研究機関】 愛媛大学医学部附属病院

【研究機関の長】 杉山隆（病院長）

【研究責任者】 渡辺 隆太（泌尿器科助教）

【研究の目的】

過去に受診された前立腺癌患者さんの通常の診療で使用した後に残った試料（手術検体）を使用して免疫組織化学染色で発現蛋白や RNA を検出することで、病因や検査法・治療法を探索する研究を行うことといたしました。さらに診療録（カルテ）の情報を収集し、前立腺癌における有効な検査・治療方法の検討を目的としたものであり、今後の診療にも役立つことができると考えています。

【研究の方法】

（対象となる患者さん）2017年4月1日から2027年9月30日の間に中四国泌尿器科共同研究コンソーシアム（CsJUC; Chu-shikoku Japan Urological Consortium）構成施設において外科的手術により摘出され保存されている固定組織や、今後外科的に摘出される予定の症例の摘出組織を対象とします。特に高悪性度腫瘍・治療抵抗性腫瘍・希少組織型腫瘍に着目して組織の選定を行います。

《試料・情報提供施設》

岡山大学病院 泌尿器科

山口大学医学部附属病院 泌尿器科
徳島大学病院 泌尿器科
鳥取大学医学部附属病院 泌尿器科
川崎医科大学附属病院 泌尿器科
高知大学医学部附属病院 泌尿器科
香川大学医学部附属病院 泌尿器科
広島大学医学部附属病院 泌尿器科
福山市民病院 泌尿器科
島根大学医学部附属病院 泌尿器科
愛媛大学医学部附属病院 泌尿器科

＊なお、上記機関のうち愛媛大学医学部附属病院が免疫染色・RNA解析・データ解析を担当し、その他の機関は「試料・情報の提供のみ」を担います。

(利用するカルテ情報) 性別、年齢、発症時期、合併症、既往歴、身体所見、血液検査データ、画像検査データ、治療状況 等

(利用する試料) 通常の診療で使用した後に残った試料 (手術検体)

【個人情報の取り扱い】

収集した試料・情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる情報を除いて匿名化したします。個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

<試料・情報の管理責任者> 愛媛大学医学部附属病院 泌尿器科 渡辺隆太

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、【お問い合わせ先】までご連絡ください。他の患者さんの個人情報の保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

【お問い合わせ先】

愛媛大学医学部附属病院 泌尿器科 渡辺隆太
791-0295 愛媛県東温市志津川 454
Tel: 089-960-5356